

～ 暖房用灯油の取り扱いが増える時期を前に ～

水質汚濁事故（油流出事故 等）に備え、

オイルフェンス設置訓練 を実施します

子吉川水系水質汚濁対策連絡協議会（構成：国、県、市町村、警察本部、各消防本部など）では、下記のとおり水質汚濁事故を想定したオイルフェンス設置訓練を実施します。

この訓練は、本協議会事業の一環として、毎年、暖房用灯油の取り扱いが増える時期を前に行っているもので、汚濁物質の拡散防止・回収技術の向上を図り、事故発生の際には、構成各機関での情報共有と連携・早期対応により被害軽減に万全を期するものです。

記

1. 日 時： 平成27年11月18日（水） 13：30～15：00（予定）

場 所： 由利本荘市岩谷町字十二柳地内 芋川
（県道本荘岩城線、岩谷橋付近）

演習内容： 子吉川沿川で油流出事故が発生したことを想定した演習
（汚濁物質の拡散防止対策工、オイルフェンス設置訓練 ほか）

2. 小雨決行。但し、降雨等により各種災害体制に入るような場合には、中止する場合がありますので、下記までお問い合わせください。

発表記者会： 秋田県政記者会、秋田魁新報社本荘支局
読売新聞由利本荘通信部、由利本荘市CATVセンター

問い合わせ先

子吉川水系水質汚濁対策連絡協議会
事務局 国土交通省 東北地方整備局 秋田河川国道事務所

副所長（河川） なかがわ ひろき 中川 博樹（内204）

河川管理課長 ななお しげあき 七尾 重亮（内331）

TEL 018-864-2290

【参 考】

例年、水質事故の主な原因としては、灯油などの流出が約9割を占め、原因別では約4割以上が機器の操作ミスや管理不備などの人為的な単純ミスによるものとなっています。

事例：落雪によるホームタンクのバルブや配管の破損
除雪時の貯油施設の損壊
灯油小分け時の不注意など

平成22年は、雄物川水系（上下流）で36件、
子吉川水系で6件の水質汚濁事故が発生しました。

平成23年は、雄物川水系（上下流）で27件、
子吉川水系で9件の水質汚濁事故が発生しました。

平成24年は、雄物川水系（上下流）で45件、
子吉川水系で2件の水質汚濁事故が発生しました。

平成25年は、雄物川水系（上下流）で68件、
子吉川水系で3件の水質汚濁事故が発生しました。

平成26年は、雄物川水系（上下流）で41件、
子吉川水系で6件の水質汚濁事故が発生しました。

<オイルフェンス設置訓練状況>



会場案内図(子吉川)

